

主 直 日 誌

4 月 1 1 日 （金） 天候 o

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

航路実習（鳴門海峡、備讃瀬戸東・北航路）、航路発表、投錨作業

【感想（一日を振り返り、学んだこと、感じたこと）】

航路実習初日は、鳴門海峡、備讃瀬戸東・北航路を航行しました。私の班はこの海域の担当で、ブリッジで船長役と操舵手役を交代で行いました。船長役では海図や航海計器を見ながら安全に通航できるように指示を出し、操舵手役では船長役の操舵号令どおりに操舵を行いました。潮流の強い海域では潮に流されないように当て舵をとりながらコースを合わせるのが難しく、とても緊張しました。備讃瀬戸東航路に入る際に備讃瀬戸海上交通センターへの位置通報も行いました。初めての無線通信で、聞き取りやすい声を意識しながら通報することができました。航路を抜けてからは投錨作業がありました。この作業は危険な箇所が多いため、安全第一で作業を行いました。事故を起こさないよう今後の実習も緊張感を持って取り組んでいきたいです。

瀬戸内海で航路実習を行っています。



4月11日

